

■ 中期経営計画

■ 中期経営計画「SINKA2020」～地域のためより一層のSINKAへ～

2020年4月より、3年(2020年4月～2023年3月)を計画期間とする新中期経営計画「SINKA2020」に取り組んでいます。2年目となった2021年度は新型コロナ禍による環境の変化で経済的苦境に陥っているお客様に対して伴走型での再生支援に取り組んだことに加え、資産承継サービスや非対面ニーズに対応した金融サービスの拡大、ならびに窓口事務の効率化に重点的に取り組んでまいりました。

SINKA2020

～地域のためより一層のSINKAへ～

目指す姿 景況に左右されず、どんな時も地域を支え、地域の発展に寄与する真のリーディングバンクへ

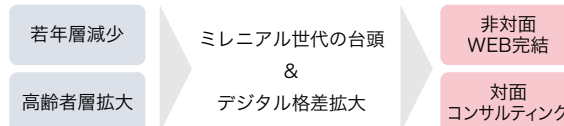
現状認識

現状認識を踏まえた経営戦略の方向性

【環境制約】

全国	沖縄	金融環境	リスク管理
高齢化・人口減少	観光失速懸念	低金利継続 規制緩和	AML/CFT
低成長	不動産市況 低迷懸念	FinTech 異業種参入	サイバー攻撃

【顧客動向：顧客ニーズ・顧客接点多様化】



【当行の課題】

自己資本比率	顧客向けサービス利益	IT投資
<ul style="list-style-type: none"> ✓ アセットコントロール ✓ 収益源の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 役務収益の拡大 ✓ 経費削減 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 積極的な新規投資 ✓ 既存経費削減

【基本戦略】

構造改革

- ✓ 経営環境の変化に対応しつつ新たな分野にチャレンジするため、筋肉質の財務体質への変革を図る

考動改革

- ✓ 顧客本位の業務運営を徹底するため、研修態勢を充実させるとともに、従業員の意識を変え行動を変える

IT投資戦略

- ✓ デジタル技術を積極的に活用し多様化する顧客ニーズに対応するとともに、行員の働き方もサポート
- ✓ その一方で、既存システム経費や維持更改費用の削減に取り組み、メリハリのあるIT投資を実現する

グループブランド戦略

- ✓ グループ各社の商品・サービスをいつでも受けられる態勢とし、琉球銀行グループのブランド力および企業価値向上に努める

計数目標 SINKA2020

現中期経営計画の計数目標(2023年3月期)に向けての2022年3月期での達成状況

達成	連結当期純利益	55億円	2021年度 51億円	顧客向けサービス利益	55億円
達成	連結ROE	4%以上	達成	単体自己資本比率	8.5%以上